

既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議（第１回）

議事概要

日 時：11月26日（火）16:30～16:45

場 所：官邸2階小ホール

出席者：菅 義偉 内閣官房長官
岡田 直樹 内閣官房副長官
和泉 洋人 内閣総理大臣補佐官
古谷 一之 内閣官房副長官補
五道 仁実 国土交通省水管理・国土保全局長
濱野 幸一 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
樽見 英樹 厚生労働省医薬・生活衛生局長
牧元 幸司 農林水産省農村振興局長
前田 泰宏 経済産業省地域経済産業グループ長
高橋 泰三 資源エネルギー庁長官
関田 康雄 気象庁長官
青柳 一郎 内閣府政策統括官（防災担当）

議 題：既存ダムの洪水調節への活用の在り方について

概 要：

- 和泉内閣総理大臣補佐官から、会議の開催趣旨について説明があった。
- 五道国土交通省水管理・国土保全局長から、既存ダムの洪水調節への活用の在り方について説明があった。
- 関田気象庁長官から、気象予報の状況等について説明があった。
- その他、牧元農林水産省農村振興局長、高橋資源エネルギー庁長官から発言があった。
- 最後に、菅内閣官房長官から、以下のとおり発言があった。
 - ・ 台風第19号をはじめとした一連の豪雨は、東北、関東甲信越を中心とした広範な地域において甚大な被害をもたらした。
 - ・ 我が国には、国交省が所管する約560のいわゆる多目的ダムのほか、電力や農業用水などの利水ダムが約900存在する。そして、全てのダムの貯水容量のうち水害対策に使える「洪水調節容量」は3割にとどまっている。
 - ・ 近年の水害の激甚化を踏まえ、この会議において、国内1460の全てのダムの運用を検証し、洪水調節機能を早期に強化することとする。
 - ・ まずは、国交省を中心に関係省庁において、利水容量を洪水調整に利用で

きるよう水系ごとの「工程表」の作成をお願いします。

- ・ その上で、来年の夏には、水系ごとに既存ダムを最大限活用した新たな運用を開始し、国内全体の治水機能が強化できるよう政府一体となって取り組みをお願いします。

（以上）